＜第４００１回＞
目的地：屋島南嶺（香川）（２９２ｍ）
担当者：後藤重雄
実施日：２０２０年　２月２２日(土)～２月２３日（日）
形　式：船中泊ハイキング
費　用：￥５，３１０（神戸三宮起点）
参加者：７名
満田克己・田名部大一・眞鍋美和・淀直子・吉川恵美・赤松朋子・後藤重雄
天　気：快晴
行　程：
阪急神戸三宮駅(11:10)→三宮駅前連絡バス乗り場（11:30）⇒神戸三宮フェリーターミナル（1:00）⇒(5:25)高松東港⇒(5:40)ＪＲ高松駅バスターミナル［うどん屋で朝食］→琴電高松築港駅(6:16)⇒潟元駅(6:40)→(7:40)屋島寺(8:00)→山上周回[獅子の霊巌・談古嶺・一等三角点]→屋島寺（9:00）⇒（9:55）潟元駅(10:03)⇒(10:25)高松築港駅→高松城跡見学→ＪＲ高松駅ビル［昼食］→高松駅前連絡バス乗り場（13:00）⇒高松東港フェリー乗り場（14:00）⇒(18:40)神戸三宮フェリーターミナル⇒(１９時頃)ＪＲ三宮駅前［解散］
感　想：
・神戸 AM１：００発のジャンボフェリーは、連休のせいか、ライダー・サイクリスト・旅行者等、結構混んでいました。女性達は女性専用ルームで、おっさん３人は大部屋で、エンジンの振動を感じながら、短い睡眠をとりました。
・高松着後、５時から営業している『味庄』で、美味しいうどんの朝食をとりました。琴電潟元駅を、早朝６：４０分に歩きはじめ、所々に磨き石のベンチのある、良く整備された石仏とお墓の多い石畳の遍路道をたどり、美しい８４番札所『屋島寺』に参詣後、屋島南嶺山上を周回しました。風が強かったものの、晴天に恵まれ、瀬戸内海の遠くに瀬戸大橋や、屋島古戦場を眼下に、五剣山の特異な山容も望まれました。屋島寺に戻り、登りと同じ道を下山中、これから登る多くの人とすれ違いました。多くの人に親しまれている、信仰の山であると、感じました。
・高松築港駅にもどり、すぐ近くにある高松城跡を散策後、昼食とお土産を購入し、高松東港１４：００発のフェリーに乗船し、帰途につきました。船中は比較的空いており、お酒とおつまみで、楽しい船中ミーティングとなりました。海から見る特異な山容の五剣山や、今登ってきた特徴ある台形の屋島が、美しかったです。明石海峡を船が通過する頃、夕暮れとなり、茜色の空を背景にした明石大橋が、素敵でした。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。